

(観光文化部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
2 世界に開かれた活力あふれる熊本 (施策4) スポーツ、観光、文化芸術の振興 施策4-①スポーツ政策の推進	366,873	353,696	1 スポーツツーリズム活性化事業 (デジタル田園都市国家構想交付金活用) スポーツ大会の開催や合宿誘致、温泉と健康の相乗効果を狙った新たなスポーツツーリズムを展開し、継続的な誘客につなげた。 ・前年度までに開発したスポーツツーリズム商品の磨き上げや販売促進、ロゲイニングイベントの実施 ・サイクルツーリズムの推進のためのサイクルスタンドの設置 2 ツール・ド・九州受入環境整備事業 (デジタル田園都市国家構想交付金活用) 令和6年10月11日～10月14日に、福岡県、熊本県、大分県を舞台に「マイナビ ツール・ド・九州2024」を開催した。13日の熊本阿蘇ステージでは、コース沿線や熊本市内で開催したパブリックビューイングにおいて約40,000人が観戦した。 3 国際バドミントン大会誘致促進事業 (デジタル田園都市国家構想交付金活用) 熊本市と連携して、令和6年11月12日～17日に、県立総合体育館でバドミントン国際大会「熊本マスターズジャパン2024」を開催した。トップクラスの選手が国内外から290人以上参加し、約19,000人が観戦した。 4 プロスポーツによる地域活性化事業 県内プロスポーツ3チーム (ロアッソ熊本・熊本ヴォルターズ・火の国サラマンダーズ) において、ファン獲得のためのホーム試合無料招待、アウェー試合での熊本PR等を行った。 また、ロアッソ熊本の選手が指導するサッカー教室などの県民との交流イベントを実施することにより、子どもたちの夢づくりを促進し、地域活性化を図った。 5 熊本県民総合運動公園アクセス改善対策事業 来場見込者数の規模に応じて、パーク&バスライドやシャトルバス運行による渋滞対策を実施した。ロアッソホームゲーム観戦者のうち、1割～2割程度の利用があり、周辺道路で目立った混乱や大きな渋滞等は発生せず、一定の成果を上げることができた。	観光費のうち P324

(観光文化部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(施策4-①スポーツ政策の推進)			<p>6 アーバンスポーツ展開事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 令和7年2月22日～23日に、菊陽町総合体育館でアーバンスポーツイベント「KUMAMOTO URBAN SPORTS FES 2025」を開催した。同イベントで実施したスケートボード大会「くまモンカップ」では国内外のトップアスリート等が参加し、約5,400人が来場した。</p> <p>7 公民連携によるスポーツ施設整備検討事業 老朽化等の課題を抱える県有スポーツ施設の整備の方向性を決定するため、スポーツ施設整備への民間活力の導入のための調査や、全国の先進地視察を行った。 また、有識者10人で構成する「公民連携によるスポーツ施設整備に関する検討会議」を3回開催し、検討対象施設（藤崎台県営野球場、熊本武道館、熊本県立総合体育館、熊本県民総合運動公園陸上競技場）の現状や課題、整備手法等の論点整理を進めた。</p>	<p>観光費のうち P324</p> <p>計画調査費のうち P141</p>
施策4-②観光振興	592,669	509,084	<p>1 デジタルマーケティング事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） デジタルを活用したプロモーションの実施にあたり、動画やSNS等の広告配信データ等を分析し、本県観光の魅力をより効果的に発信した。</p> <p>2 スマート観光交通体系構築推進事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 阿蘇地域をモデルとして、観光地までの二次交通の課題を克服し、デジタル媒体等で検索・予約・決済をシームレスにつなげることで、旅行者の周遊性・利便性の向上を図った。</p> <p>3 地域の活性化を牽引する観光産業創造事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 県が作成した地域未来投資促進基本計画に基づき承認を受けた事業者の事業計画のうち、他の事業者のモデルケースとなりうる、先進性があり高い経済的波及効果を及ぼす設備投資等への支援を実施した。 ・補助実績：1件</p> <p>4 くまもつ観光地域応援社発展事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 観光客の多様なニーズに対応するため、県内2地域の観光協会等が取り組む着地型旅行商品の造成・販売等の受入環境の整備に対する支援を実施した。</p> <p>5 スマート観光提案型システム構築事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 多数の海外の旅行会社に、各国の多様な観光ニーズに合った旅行プランをスピーディーに提案するため、デジタル技術を活用した観光ルート提案システムの活用を図った。</p>	観光費のうち P324

(観光文化部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(施策4-②観光振興)			<p>6 競争力の高い魅力ある観光地域づくり支援臨時対策事業 熊本の強みである産業や資源を活用した観光地の高付加価値化や多様な観光客を受け入れる体制整備等に取り組む地域への支援を実施した。 ・支援地域：7地域</p> <p>7 スマートツーリズム基盤創生・活用事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） デジタル広告配信や Web から集まるデータを、事業横断・年度縦断で蓄積して可視化したデータ基盤（観光 DMP）の運用・活用を行うとともに、活用促進に向けた研修会の実施により人材育成を図った。</p> <p>8 地域一体となった宿泊事業者物価高騰等対策支援事業 物価高騰等の影響を受ける宿泊事業者に対して、地域一体となったコスト削減に資するシステムの導入等に係る経費への支援を実施した。 ・支援地域：3地域</p> <p>9 国内観光誘致対策事業 県内各地域及び東京・大阪・福岡事務所と連携した観光PRや県内各地域の着地型旅行商品の発掘と磨き上げを行った。 ・着地型旅行商品を観光予約サイト「くまもつと旅行社。」で販売（利用人数：延べ9,251人） ・県外の飲食店等を「くまもつとうまか応援店」に認定し、観光及び県産品情報を発信（東京事務所管内：1店舗、大阪事務所管内：3店舗、福岡事務所管内：8店舗を新たに認定）</p> <p>10 教育旅行誘致推進事業 教育旅行宿泊者数の回復及び新たな需要の獲得に向けて、新規校に対する宿泊費又はバス費の助成や、学校及び旅行会社に対するセールスを実施した。 ・新規校助成実績：交付校数44校、延べ宿泊者数4,349人 ・「熊本×探究ワークブック」の改訂（球磨村SDGsプログラム、人吉球磨防災学習プログラム、平和学習プログラム等を掲載） ・教育旅行素材の情報収集及びプログラム造成のアドバイス、学校や旅行会社等のニーズと地元のマッチングを行うワンストップ窓口の設置</p> <p>11 観光ビジネスチャレンジ支援事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 県内に営業所を有する事業者等を対象に、新たな観光商品・メニュー開発に対する支援を実施した。 ・支援実績：2事業者</p>	<p>観光費のうち P324</p>

(観光文化部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(施策4-②観光振興)			<p>12 豪雨被災地域における観光需要回復緊急支援事業 令和2年7月豪雨被災地域を目的地とする交通機関（観光バス等）の利用を組み込んだ旅行商品（宿泊・日帰り）に対して、料金の一部を助成した。 ・助成実績 参加事業者：45社、商品造成数：86商品、送客数：4,379人 ・対象期間 令和6年8月23日～令和7年1月31日</p> <p>13 旅するくまモンバスポート事業 本県を訪れた旅行者に、お得に県内を周遊できるLINEを活用したデジタルクーポンを付与し、県内周遊を促進するとともに、スタンプラリーキャンペーンを実施した。 ・お友達登録者数：約25.8万人</p> <p>14 インバウンド誘致推進事業 海外旅行会社向けのセミナー、現地旅行会社と県内観光事業者との商談会・ファムトリップの開催、旅行博への出展、現地セールス及びSNSを活用した情報発信等を実施した。 ・台湾旅行会社60社と県内観光事業者23団体による台北現地での商談会を開催 ・台湾、韓国、香港、タイでの旅行博への出展 ・台湾、香港のインフルエンサーを招請した県内観光地の情報発信 ・4言語の公式SNS（フォロワー計14.4万人）による県内情報の発信</p> <p>15 台湾インバウンド誘客強化事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 台湾現地に観光レップ（現地代理人）を設置し、現地でのマーケティング、情報発信、営業活動を強化した。 また、台湾からの教育旅行の円滑な受入れのための相談窓口を通じて、7件のマッチングによる熊本訪問が実現し、278名が来熊した。</p> <p>16 大阪・関西万博連携事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 万博来場者を熊本に誘客できるよう、旅行商品造成やプロモーションを実施した。 ・万博のテーマと親和性のある本県を目的地とする高付加価値なコンテンツの万博ポータルサイトへの掲載支援 ・企業版ふるさと納税を活用した本県観光地の360°VR映像の制作 ・首都圏からの誘客プロモーション ・高付加価値旅行商品の造成・販売 ・関西圏発着による県内周遊モニターツアーの実施</p>	観光費のうち P324

(観光文化部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(施策4-②観光振興)			<p>17 新たな旅のスタイル促進事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） ワーケーションの推進に向けて、各地域のコーディネーターのフォローアップやプログラムの磨き上げを行うとともに、セミナーや現地イベントを開催し、熊本ワーケーションモデルの認知度向上に取り組んだ。</p> <p>18 クルーズ船誘致促進事業 県内港PRのため、国内外のクルーズ船社等へ訪問セールスを計30回実施するとともに、海外の展示会等に4回出展し、船社のキーパーソンとの関係構築に取り組んだ。また、富裕層向けクルーズの天草地域への継続的な寄港に向け、仏ポナン社に対し、ファムツアーをはじめ継続的な営業活動に取り組み、2年先まで継続的な寄港予約を獲得した。</p> <p>19 クルーズ船受入体制強化事業 地元協議会と連携し、初寄港セレモニー5回を含む計32回（国内船2回、国際船30回）のクルーズ船の受入対応を実施した。 また、ロイヤル・カリビアン社のクルーズ船「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」の5月の上海出港イベント及び8月の上海国際クルーズフェスティバルにおいて、くまモンを現地に派遣し、同社と連携して熊本県をPRした。 さらに、3月には知事が同社幹部を訪問してトップセールスを展開し、受入環境の充実に向け関係強化を図った。</p> <p>20 『ONE PIECE』連携復興応援事業 アニメ25周年イベント「ONE PIECE EMOTION」と連携し、ONE PIECE 熊本復興プロジェクトの промоーションを実施した。 麦わらの一味の銅像を起点とした周遊促進を図るため、令和7年度からの運行に向け、県内交通事業者と連携し、銅像及び周辺観光施設等をめぐるバスツアーを造成した。 ・ONE PIECE EMOTION@グランメッセ熊本 （期 間）令和6年12月28日～令和7年1月13日 （来場者数）約16,000人 ・バスツアー：ONE PIECE 麦わらの一味像ひとつなぎバスツアー （運行主体）九州産交ツーリズム （運行日程）2日間の日帰りバスツアー</p> <p>21 観光誘客プロモーション推進事業 令和8年夏に開催する国内最大級の観光キャンペーン「熊本デスティネーションキャンペーン」に向けた実行委員会を開催した。</p>	<p>観光費のうち P322 ～ P324</p>

(観光文化部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(施策4-②観光振興)			22 広域的な観光地域づくり支援事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 観光地域づくり団体（DMO）の活力を最大限に生かし、広域的な観光地域づくりの継続的展開を図るための支援を実施した。	観光費のうち P324
施策4-③文化芸術の振興	4,303	3,649	1 子ども芸術文化活動支援事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 伝承文化の継承のため、地域で伝承芸能活動をしている子どもたちが、同じ分野の活動をしている他地域の子どもたちと交流を行い、技術力や活動意欲の向上に取り組んだ。 ・太鼓をテーマに県内3地域6団体の子どもたちが交流を行い、専門家の指導の下、互いに技術を学びあい、合同演奏を行った。 2 くまもと若手芸術家海外チャレンジ事業 熊本県の将来の文化の担い手となる芸術家を育成するため、海外での研修やコンクール等に参加する若手芸術家への支援を行った。 ・支援実績：7人	計画調査費のうち P141～P142
3 いつまでも続く豊かな熊本 (施策3) 魅力ある地域づくり 施策3-①市町村との連携・地域特性を踏まえた地域振興	11,988	9,962	1 伝統的工芸品販路開拓支援事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 工芸家のECサイト等での販売力強化及び経営基盤強化のための専門家による経営アドバイス、新たな担い手の育成支援を実施した。 ・支援実績 販売力強化：9事業者、経営基盤強化：3事業者、担い手育成：4事業者（対象担い手6人）	商業総務費のうち P306～P307
4 県民の命、健康、安全・安心を守る (施策1)「緑の流域治水」を核とした創造的復興 施策1-②若者が“残り・集う”産業・雇用の創出	39,710	39,056	1 「マンガ県くまもと」構想推進事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 人吉・球磨地域がモデル地となっているアニメ「夏目友人帳」と連携して、モデル地を周遊するAR機能付きデジタルスタンプラリーアプリの配信やイベントを開催するなど、県内外からの誘客・周遊促進を行った。 2 Kuma ラボ（コンテンツラボ）運営事業（デジタル田園都市国家構想交付金活用） 産学官の多様なプレーヤーが集まり意見交換を行う場である「コンテンツラボ」において、新たな誘客コンテンツの創出と定着化を図るため、県外からの誘客促進及び地域で自走していくための仕組みづくりに関する勉強会等を行った。	観光費のうち P324

(観光文化部)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(施策2) 災害に強い県土づくり 施策2-①防災力の強化	139,847	126,555	1 熊本地震震災ミュージアム具体化推進事業 令和5年7月に熊本地震震災ミュージアムK I O K Uを開館し、令和6年度末までに約10万人が来館した。 4月に基調講演、8月に開館1周年イベントを開催するとともに、防災推進国民大会(ぼうさいこくたい)2024への出展や「世界津波の日」2024高校生サミットにおけるスタディツアーでの連携を行うなど、K I O K Uへの誘客に取り組んだ。 2 熊本地震震災ミュージアム中核拠点整備事業 熊本地震震災ミュージアム中核拠点の環境整備のため、敷地内の既存建屋1棟の解体工事、観光標識4基の設置、展示室のロールカーテン設置等を行った。	観光費のうち P324